

小噺・落語入門サロン

■ 前座 (今日の話題・話のネタ)



「ヒライ信」カタカナ語①力行 オンライン落語・講演②

落語に出てくる川柳・狂歌・ことわざシリーズ

「居候置いて合わず居て合わず」「居候角な座敷を丸く掃き」

他人の家に世話になっている居候は、それを世話する側でも、厄介になる側でも、物心両面において何かと苦労するため、割に合わないものだという事。

居候はとかく横着者(いいかげんなこと)であるということ。

「居候三杯目にはそっと出し」「居候泰然として五杯食い」

人の家に世話になっている者は、食事のときも遠慮しがちになるということ。

「居候足袋の上から爪をとり」「居候亭主の留守にし候」

居候のすることのだらしないさまのたとえ。

大家(たいけ)の若旦那、遊びが過ぎて勘当中で、出入りの大工職人の熊五郎の家の2階に居候の身の上。わがままで遊び人ですから、仕事をせず何もしないで食っちゃ寝てばかりいるので、熊さんの女房は迷惑だ。

江戸時代の公文書に、縁者でも正式の雇用人でもない同居者を「だれその家に居候」と肩書きされたのが始り。

居候の出てくる落語の演目 「湯屋番」「鮒徳」「唐茄子屋政談」

■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ

「人間国宝 柳家小三治に学ぶ(間)」

そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も **謎かけ** で、お題は「掃除機」「チーズ」^{乾 酪} とかけて

次回は2021年12月6日(月)「亀」「さつまいも」